



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 株式会社マルイチ産商

上場取引所 名

コード番号 8228 URL <http://www.maruichi.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 井崎 俊彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 企画・管理部門統括 (氏名) 白井 幸男

TEL 026-285-4101

四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	75,338	1.1	133	—	339	116.7	162	135.6
23年3月期第2四半期	74,532	0.0	△40	—	156	△65.2	69	△74.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 223百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △96百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	7.07	—
23年3月期第2四半期	3.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	34,976	16,384	46.8
23年3月期	33,971	16,253	47.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 16,384百万円 23年3月期 16,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	4.00	6.00
24年3月期	—	2.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,500	△0.1	440	—	800	118.1	450	54.5	19.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	23,121,000 株	23年3月期	23,121,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	65,372 株	23年3月期	65,276 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	23,055,678 株	23年3月期2Q	23,055,967 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災による電力供給の制約、原子力災害の影響等に加え、円高の長期化、世界的な景気後退など、予断を許さない状況が続きました。

当食品流通業界においても、調達面では震災による商品調達の影響や仕入価格の上昇、販売面では生活者の低価格志向や企業間の価格競争が継続しており、放射性物質による食品の安全性に対する懸念の顕在化も相まって、厳しい経営環境下にありました。

このような状況のもと、当社グループは、今期からスタートした中期経営計画「Cキューブ-2013」に基づき、生鮮を基軸としたフルラインの強みを活かし、小売業の店頭の活性化を目的とした提案営業を積極的に推進するとともに、ICTを活用した業務効率化の推進と、管理費を中心としたコスト削減を進めてまいりました。

売上高は、一部水産物の調達に東日本大震災の影響がありましたが、畜産事業およびフードサービス事業が大きく伸長したことから、753億38百万円（前年同期比1.1%増加）と前年同期に対して8億5百万円の増収となりました。

一方、利益は、依然食品市場の川上インフレ・川下デフレの傾向が続いていますが、付加価値提案営業の積み重ねもあり、利益率低下を最小限に留めた中、コスト削減も推し進め、営業利益1億33百万円（前年同期は40百万円の営業損失）、経常利益3億39百万円（前年同期比116.7%増）、四半期純利益1億62百万円（前年同期比135.6%増）といずれも増益となりました。

【セグメント別の概況】

※各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

<水産事業セグメント>

売上高 516億64百万円（前年同期比0.4%増）
営業損失 87百万円（前年同期は1億92百万円の営業損失）

売上高は、商品調達面で東日本大震災の影響はありましたが、全国の生産者との連携による調達機能の拡充と顧客基点の商品開発を推進いたしました。また、フードサービス事業が大きく伸長したことから、前年同期に対して1億94百万円の増収となりました。

利益は、水産物の全般的な相場価格上昇に伴い、販売数量が伸び悩んだこと、仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁できなかったことにより、売上総利益額が減少しましたが、管理費のコスト削減を進めたことから、営業損失は前年同期に対して1億5百万円の改善となりました。

<一般食品事業セグメント>

売上高 129億79百万円（前年同期比0.7%減）
営業利益 71百万円（前年同期比133.0%増）

売上高は、生鮮品と連動したクロスマーチャンドライジングによる売場展開や地域特性に合わせたオリジナル商品の開発を積極的に進めたものの、震災直後の特需の反動と夏場の不安定な天候の影響を受け、前年同期に対して97百万円の減収となりました。

利益は、物流センターや事務部門におけるICTを活用した効率化を推進し、販売費および一般管理費の一層の削減を図ったことから、営業利益は前年同期に対して40百万円の増益となりました。

<畜産事業セグメント>

売上高 105億54百万円（前年同期比7.0%増）
営業利益 1億23百万円（前年同期比54.2%増）

売上高は、牛肉が震災による影響を受け低迷を余儀なくされたものの、豚肉の販売が大きく伸長し、セグメント全体では前年同期に対して6億91百万円の大幅な増収となりました。

利益は、売上高の増加による売上総利益額の増加と、システムを活用した生産から加工、販売に至る一連のサプライチェーンマネジメントの革新により生産性の向上が図られたことから、営業利益は前年同期に対して43百万円の増益となりました。

<その他（物流事業、小売店支援事業、冷蔵庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業）>

売上高 1億40百万円（前年同期比13.9%増）

営業利益 25百万円（前年同期比37.8%減）

物流事業、冷蔵庫事業を行う関係会社のマルイチ・ロジスティクス・サービス株式会社において、機能強化を目的とした冷蔵事業に対する投資を実行したことから、売上高は前年同期に対して17百万円の増収となったものの、上記投資に伴う一時的な費用が増加したことにより、営業利益は減益となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①総資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は349億76百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億4百万円の増加となりました。主な要因として、流動資産は「受取手形及び売掛金」が6億73百万円、「商品及び製品」が4億92百万円増加したことにより11億57百万円増加し、189億57百万円となりました。また、固定資産は「土地」が1億5百万円増加しましたが、「投資有価証券」が1億19百万円減少したことにより1億52百万円減少し、160億18百万円となりました。

負債は、185億91百万円となり、前連結会計年度末と比較して、8億73百万円の増加となりました。主な要因として、流動負債は「支払手形及び買掛金」が6億72百万円増加したことにより8億51百万円増加し、167億46百万円となりました。また、固定負債は22百万円増加し、18億45百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して1億31百万円増加して163億84百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の47.8%から46.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は29億14百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億29百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果増加した資金は1億81百万円（前年同四半期連結累計期間に減少した資金は90百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が2億90百万円、減価償却費が3億16百万円、のれんの償却額が36百万円となった一方で、売上債権・たな卸資産・仕入債務からなる運転資金に係る現金が4億58百万円減少したことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果減少した資金は1億13百万円（前年同四半期連結累計期間に減少した資金は1億36百万円）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入が1億55百万円となった一方で、有形固定資産の取得による支出が1億76百万円、無形固定資産の取得による支出が62百万円となったことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果減少した資金は、1億97百万円（前年同四半期連結累計期間に減少した資金は7億22百万円）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が44百万円、リース債務の返済による支出が61百万円、配当金の支払による支出が91百万円となったことによります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日発表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,049	2,920
受取手形及び売掛金	10,726	11,399
商品及び製品	2,333	2,825
仕掛品	9	3
原材料及び貯蔵品	78	77
その他	1,744	1,855
貸倒引当金	△142	△124
流動資産合計	17,799	18,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,198	4,057
土地	7,604	7,709
その他（純額）	592	618
有形固定資産合計	12,395	12,385
無形固定資産		
のれん	404	368
その他	252	275
無形固定資産合計	656	643
投資その他の資産		
投資有価証券	2,200	2,081
その他	1,008	982
貸倒引当金	△89	△73
投資その他の資産合計	3,119	2,990
固定資産合計	16,171	16,018
資産合計	33,971	34,976
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,340	13,013
短期借入金	1,500	1,500
1年内返済予定の長期借入金	44	—
未払法人税等	15	167
賞与引当金	377	372
その他	1,617	1,692
流動負債合計	15,894	16,746
固定負債		
長期借入金	200	200
退職給付引当金	647	643
役員退職慰労引当金	203	218

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
債務保証損失引当金	102	102
資産除去債務	79	80
その他	589	601
固定負債合計	1,823	1,845
負債合計	17,717	18,591
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,380	3,380
利益剰余金	9,239	9,310
自己株式	△52	△52
株主資本合計	16,286	16,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△32	27
その他の包括利益累計額合計	△32	27
純資産合計	16,253	16,384
負債純資産合計	33,971	34,976

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	74,532	75,338
売上原価	66,582	67,892
売上総利益	7,950	7,445
販売費及び一般管理費	7,991	7,312
営業利益又は営業損失(△)	△40	133
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	48	51
受取賃貸料	82	83
その他	84	81
営業外収益合計	217	218
営業外費用		
支払利息	16	10
その他	3	2
営業外費用合計	20	13
経常利益	156	339
特別利益		
貸倒引当金戻入額	69	—
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	70	—
特別損失		
投資有価証券売却損	1	19
投資有価証券評価損	—	27
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	44	—
その他	3	2
特別損失合計	49	49
税金等調整前四半期純利益	178	290
法人税、住民税及び事業税	69	134
法人税等調整額	39	△6
法人税等合計	109	127
少数株主損益調整前四半期純利益	69	162
四半期純利益	69	162

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	69	162
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△165	60
その他の包括利益合計	△165	60
四半期包括利益	△96	223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△96	223
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	178	290
減価償却費	314	316
のれん償却額	36	36
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△70	△33
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3	△4
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	59	△4
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△201	14
受取利息及び受取配当金	△49	△53
支払利息	16	10
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	19
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	27
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	44	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△118	△646
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△386	△484
仕入債務の増減額 (△は減少)	464	672
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△151	△156
その他の負債の増減額 (△は減少)	△64	68
その他	18	12
小計	88	86
利息及び配当金の受取額	51	54
利息の支払額	△15	△10
法人税等の支払額	△216	△14
法人税等の還付額	2	65
営業活動によるキャッシュ・フロー	△90	181
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△67	△176
無形固定資産の取得による支出	△65	△62
投資有価証券の取得による支出	△89	△10
投資有価証券の売却による収入	14	155
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	56	—
貸付金の回収による収入	3	—
定期預金の払戻による収入	19	—
定期預金の預入による支出	△6	—
その他	△1	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136	△113

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△538	△44
リース債務の返済による支出	△46	△61
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△137	△91
財務活動によるキャッシュ・フロー	△722	△197
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△949	△129
現金及び現金同等物の期首残高	3,939	3,043
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,990	2,914

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	51,470	13,076	9,863	74,409	123	74,532	-	74,532
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1	-	1	1,031	1,032	△1,032	-
計	51,470	13,077	9,863	74,410	1,154	75,565	△1,032	74,532
セグメント利益 又は損失 (△)	△192	30	80	△82	41	△40	-	△40

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業、小売店支援事業、冷蔵庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失 (△) と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	51,664	12,979	10,554	75,197	140	75,338	-	75,338
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1	-	1	1,426	1,427	△1,427	-
計	51,664	12,980	10,554	75,198	1,566	76,765	△1,427	75,338
セグメント利益 又は損失 (△)	△87	71	123	107	25	133	-	133

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業、小売店支援事業、冷蔵庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。